

◎フージャース、東北初の物件販売を開始

フージャースコーポレーションは、仙台市若林区の新築分譲マンション「デュオ仙台六丁の目」（総戸数55戸）のモデルルームを近くオープンする。東北支店で初めての販売物件。販売開始は2月中旬の予定。

同物件（仙台市若林区六丁の目南町4番5）はJR仙台駅からバス14分徒歩5分、15年度に開通予定の仙台市高速鉄道東西線六丁の目駅から徒歩4分に立地する地上12階建て。周辺は従前より郊外型ショッピングセンターなどの商業集積地で、元企業跡地。敷地面積2122・73㎡。地元向けアンケートトチラシの返信率も高く、強い住宅ニーズを確認している。間取りは3LDK・4LDK、専有面積67・23と85・35㎡。1階には防災倉庫を設置する。施工は松井建設。着工は2月、竣工は14年2月下旬の予定。

同社は昨年4月に東北支店を設立、仙台を中心とした東北エリアでの用地仕入れを行っていた。同物件以外にも「仙台市青葉区」（2604㎡）を入札で仕入れており、こちらも2月に着工する。「仙台市青葉区」は東北大学片平キャンパス近く、広瀬川沿いの住宅跡地。地上7階建て、総戸数67戸を計画。建築物の高さや環境保全のための空地の確保、色彩の制限などがある。「広瀬川の清流を守る条例」の環境保全区域内。3月からプレ販売を開始する予定。宮城県以外の東北エリアでの仕入れ活動も展開している模様。

欲しかった暮らしを、しよう。